

SS21をリニューアルします



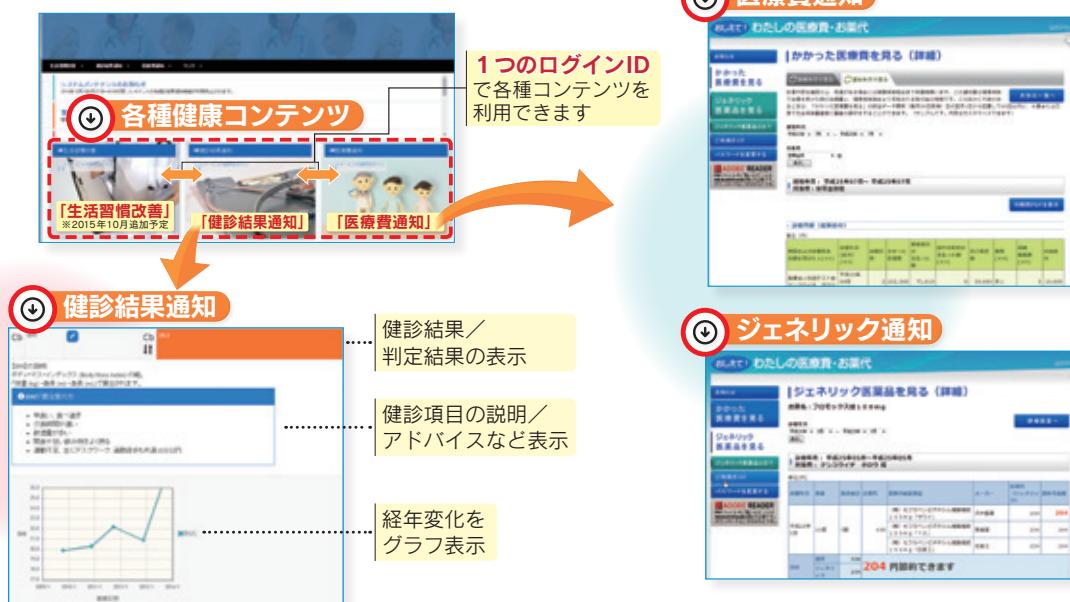
任意継続・特例退職被保険者およびすべてのご家族（被扶養者）のみなさまにも
ご利用いただけるようになります

利用条件

便利な機能をご利用いただくにはシステムへの登録が必要なため、個人のメールアドレスが必須となります。
なお、すでにご利用の現役社員のみなさまは再登録の必要はありません。

健診は受けるだけでは意味がありません。結果を見て、ご自身の健康状態を知り、生活習慣の改善に活かしていただくことが大切です。そのため、現役社員のみなさまには、健診結果を蓄積し、インターネットにより閲覧できる健診サポートシステム「すこやかサポート21」（通称：SS21）により、健診後のフォローを行っています。

※以下の図は、実際の画面とは異なる場合があります。



全加入者を対象に、より使いやすく――

今回、SS21のリニューアルに至った背景
や目的は次のとおりです。

1 ユーザビリティーの向上

NOTESメールや紙で送付している医療費通知、ジェネリック通知などを健診結果と同じ環境で公開し、使いやすいシステムを提供することが、かねてよりの課題でした。

2 任意継続・特例退職被保険者およびすべての ご家族の健診を社員健診と一元化

現役社員以外の方の健診結果をSS21へ取り込むことが可能になります。

3 国が進める「データヘルス計画」に対応した システムの必要性

ICT（4頁の*を参照）を活用して、本人の健診データに基づく個別性の高い情報提供により「加入者の動機づけ」を行うことが求められています。

新しいSS21のメリット

1 一度のログインで、健診結果、医療費通知、ジェネリック通知（医療費削減効果）を閲覧できるようになります。

2 SSO（シングルサインオン）環境の構築により、さまざまなコンテンツが同じ環境内でアクセス可能となり、拡張性が優れたシステムとなります。

3 今まで現役社員しか利用できなかったSS21が、任意継続・特例退職被保険者およびすべてのご家族の方も利用できるようになります。

4 健診結果を閲覧する際の見やすさ（視覚）と使いやすさ（操作）の両面を改善、必要な情報をわかりやすく簡単に知ることができます。それにより、自分の健康に対する理解が深まり、生活習慣上の気づきや改善行動につなげていくことができます。

5 メール送信（医療費通知）や紙での送付（医療費通知、ジェネリック通知）に比べ、コストが削減されます。

6 健診データと他のデータとの自動連携により、健保組合業務の効率化を図ることができます。